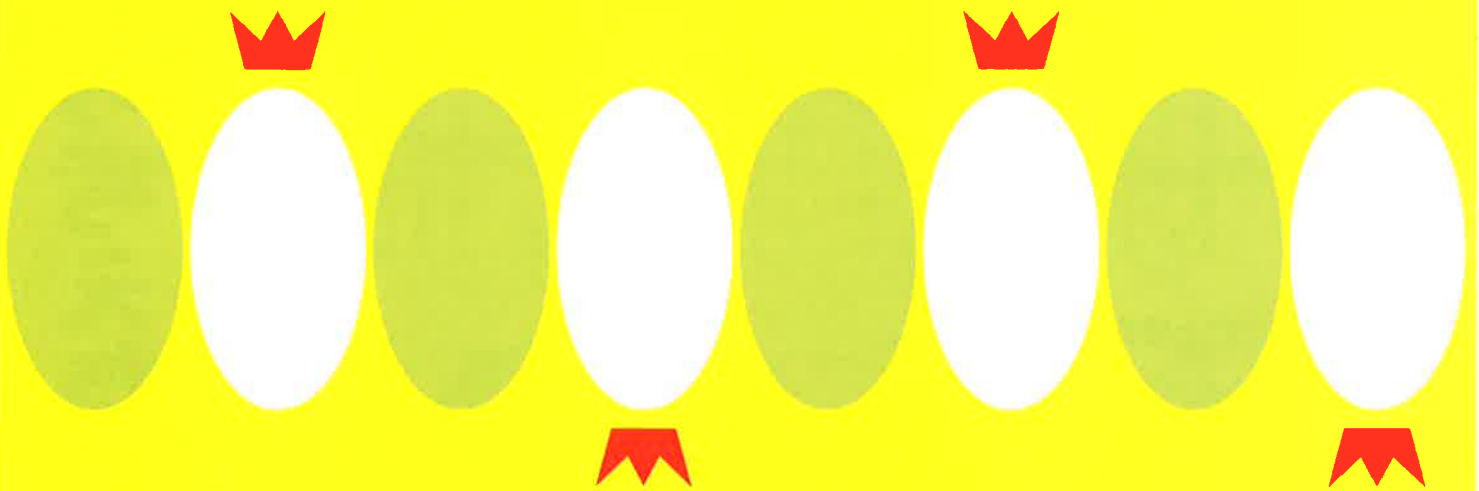


# ありーて



## もくじ

- 特集 高齢期、できたら考えたくないかな  
ーはっきり言って、何も考えていない40代ー  
アンケート結果を見て 一言いいたい
- セピア色の写真から
- 気になるコトバ
- 「ありーて」のこれから
- おもしろ数字
- こんにちは 女性行政室です

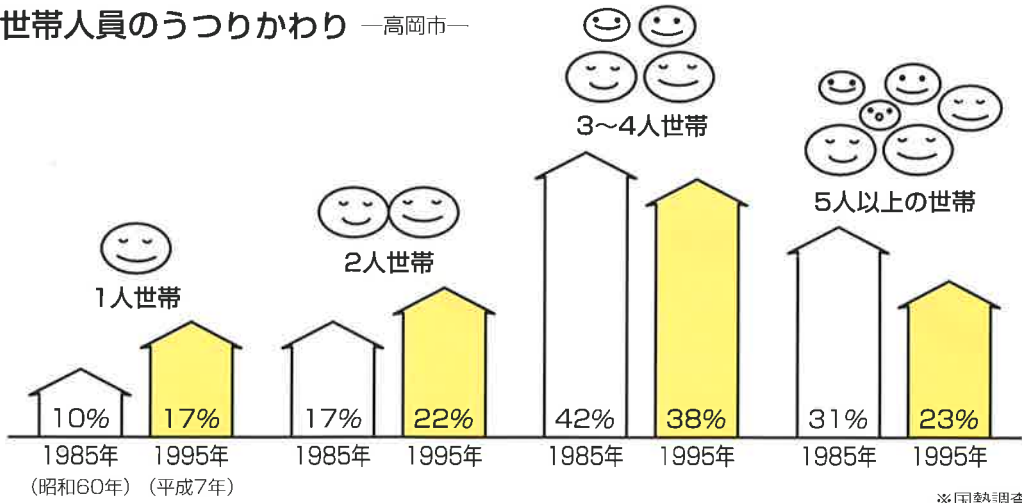
「ありーて」は、自分の力で問題解決していく  
イギリスの童話の主人公の名前です。  
「私の未来は私が創る」とアリーテはいいます。

# 特集

## 高齢期、できたら考えたくないかな

はつきり言って、何も考えていない40代

### ●世帯人員のうつりかわり —高岡市—



※国勢調査

2030年には何と4人に1人以上が65歳以上の高齢者。こんな高齢社会の到来が、まだまだ信じられない40代の男女に、将来をイメージするアンケート「40年後のわたしと今」を書いてもらいました。

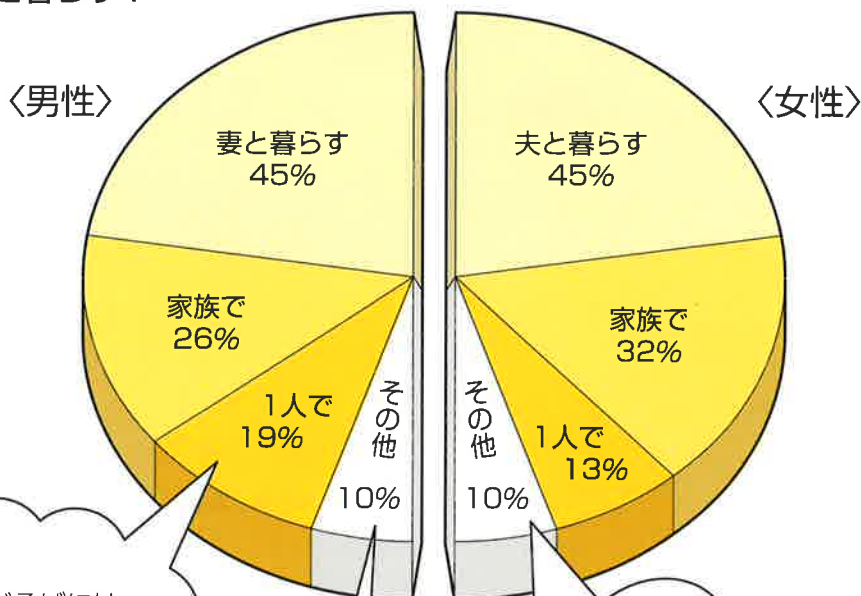
「高齢期は何歳ぐらいからかという問いに、ほとんどが60〜70歳ぐらいと答えています。では、どんな高齢期にしたいか、具体的に聞いてみました。「夫婦2人で暮らし、自然に恵まれた地域や、住み慣れた土地に住み、自分の家で暮らしたい」「毎日元気に趣味・スポーツを楽しみ、旅行や友達を招いての会食でリフレッシュ」「ボランティアや地域での活動もやりたい」などバラエティーに富んでいました。

かつて高齢期の生きがいは家族でした。今、その家族も変容しはじめ、「夫婦だけの暮らし」や「1人で暮らす」「友人と暮らしたい」という人も増えているようです。時代の流れの中で、40代は高齢期のパイオニアにならざるをえない立場にいるということでしょうか。

40年後、自分だけと暮らすか、どこに住むか、生きがいは、生活費をどうするか。年を取っても心豊かに充実した暮らしを願っている「わたし」にとって、アンケートがヒントになればと思います。

アンケート「40年後のわたしと今」は昨年12月に実施。女性39人、男性45人、合計84人の回答をいただきました。

### ●高齢期だれと暮らす？



だけどそばには  
 ・主治医がいる  
 ・友人がいる

・誰とでもよい

・仲良し男女と  
 ・愛する人たちと

## Q. 今の状態に満足していますか？



## Q. 今、気掛かりなこと、関心のあることは？

- 女性 1位 子どものこと  
2位 自分の健康  
男性 1位 子どものこと  
2位 自分の仕事

## 高齢期は先送り？

「高齢期はいつですか」という問いに  
40歳代前半の多くは「60歳代」と答え、  
40歳代後半の多くは「70歳代」と答えました。

## Q. 友人と話すことは？

- 女性 1位 子どものこと  
2位 自分の生活全般  
男性 1位 趣味・スポーツ  
2位 自分の生活全般

## Q. 高齢期に向けて大切なものは？

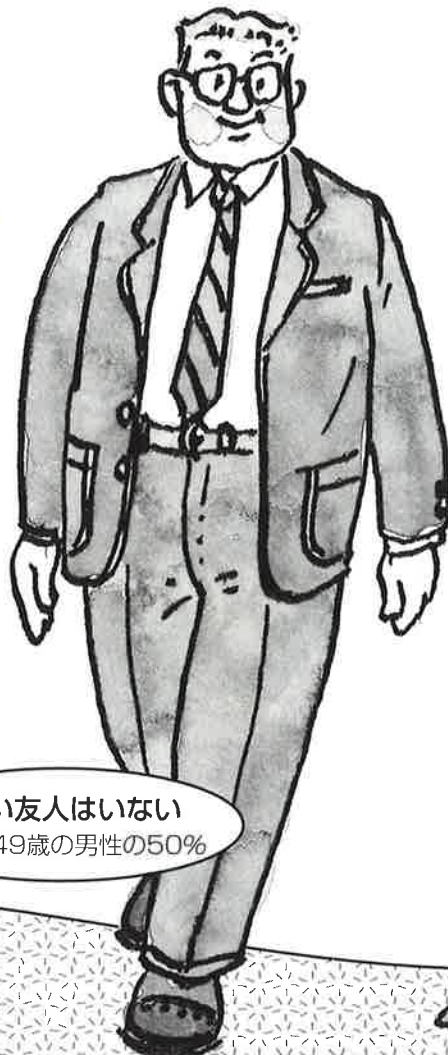
- |             |          |
|-------------|----------|
| 40~44歳      | 45~49歳   |
| 女性 1位 夫との関係 | 1位 友達づくり |
| 男性 1位 妻との関係 | 1位 健康づくり |

## Q. 夫・妻と話すことは？

- 女性 1位 子どものこと  
2位 親のこと  
男性 1位 子どものこと  
2位 妻のこと

## 今、関心のあること&夢 (男性)

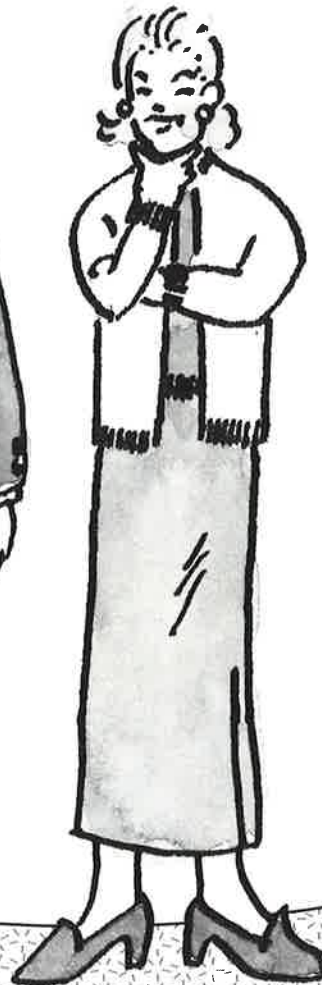
- ▽ パソコンをマスターする
- ▽ 変化の少ない生活を望む
- ▽ 地域の活動に積極的に参加したい
- ▽ 仕事を通じて他人、社会に貢献する。仕事と無関係な生きがいをつくること
- ▽ 早く会社をやめて山小屋で暮らしたい



親しい友人はいない  
45~49歳の男性の50%

## 今、関心のあること&夢 (女性)

- ▽ ボランティアを通して自分を高めたい
- ▽ あせらずゆったりした生活をしたい
- ▽ 今の仕事に悔いが残らないように
- ▽ 家庭に入って家族のためにつくしたい
- ▽ 自分にあった趣味を見つけてのんびりとした生活



# アンケート結果を見て

ひと言りたい...

**親** しい友人はいない。けれど社内には気の合う友人は何人かいる。例えば趣味が同じだったり、仕事人として考えるスタンスが一緒だったり。だけどこんな友人たちとは、お互いに自分の人生設計や家族のことは積極的に話そうとしない。会社というワックの中では、個人的なことをすべて利害関係が絡んできそうな気がする。会社の中堅所について、アフターファイブに親友が作れるような生き方ができるなんて、信じられない。定年後は、会社ではなく地域や趣味の会が拠点になると思うので、そこでは親しい友人ができると思う。

会社員 男性

**ダンナ**とは生活共同企業体みたいなもので、毎日のいろんなことをまかしていかで精一杯。毎日パンツ洗って、シャツも洗って、それでいてダンナと高尚な(?)話をするのはなかなか気が恥ずかしいし、みそもくそも一緒に暮らしたいな...

友人になら話せるのは、たぶん自分の考えを客観視できるのと、少しでも賛同してくれそうな気がするからかな。ダンナみたいに「余計なこと考えたらん」と、あれはどうなった?」なんて言われた日には、あ、「うるさいわねえ」となるのがオチだもんね。

会社員 女性

**夫** の転勤でしばらく暮らしたアメリカでは、夫婦2人暮らしや1人暮らしが多かった。でも子どもたちは遠くにいても、1週間に1回は訪ねてきて、日本よりは親とのコミュニケーションがとれているように見えた。子どもも結婚すれば家族ができるので、いつまでも良い関係を築くために、子どもの家族とは離れて暮らした方がいいと思っている。

主婦 女性

**自** 分のことより、世の中がいつまでも自由に平和であってほしい。

会社員 男性

これからの夫婦の40年の生活を考えたら、どうしても気になるのが性的なこと。私たち夫婦の本音...

**40** 歳を過ぎると、時には夫からの誘いがうっとうしく感じられる時がある。読みかけの本が気になったり、ちょっとした気持ちの行き違いがひっかかったり。何より、私の気持ちを無視して、物理的に刺激すればいい、なんて発想は我慢ならない。何といても、性は夫婦の大事なコミュニケーションの一つなのだから。

会社員 妻

**私** にとって性欲というのは押さえがたいところがある。だれでもいうわけではないが、いろんな人と、という願望があることは認める。もし、妻が病気になることにもなれば、ほかにはけ口を求めるかもしれないが、買春ということは絶対しない。

自宮 夫

長年夫婦やってるけど、やっぱり性については、ちょっとズレてるかな。大事なことから、もっと話していかなくちゃ。



## 高齢期は年金がたよりなんだけど…

**A** 女性はまだまだ男性より給料が低いとか、パート労働の人が多く、年金の額も低いから将来心配だね。

**T** そう、日本の場合、家族を単位とした年金だから、夫が亡くなった後離婚となったとき女性は経済的に大変。外国にはおもしろい制度があるよ。例えば離婚したときに、夫の年金権を分与する（ドイツやイギリスなど）とかね。そのほかには子どもを育てていた期間は、掛け金を払っていなくても、年金に加入しているとなす（フランス）なんていうのもある。日本でも、育児休業中の本人の厚生年金保険料は、免除されるようになったね。

**A** そうね、子供を生んで、働き続けられない女性も多いからね。

**T** 先ほどのような制度は、年金が家族単位ではなくて個人単位となっている国で実施されている。家事や育児をすることを無償労働（アンペイドワーク）というのだけど、それを社会的に評価した結果できた制度。女性だけでなく、男性の権利も広がる。妻を亡くした男性が遺族補償を受けられるとかね。

**A** 日本では夫が亡くなった場合、厚生年金を払っていた妻と、サラリーマンの妻の年金の不平等が問題になっていたね。

**T** 平成4年に制度が変わって、厚生年金を払った女性の選択肢が増えて、多少改善されたよ。年金制度はこれからも随分変化しそうですね、注目。

## 年

を取ったら、ピンクの口紅や赤いセーターが似合うかもしれない。今より思い切っておしゃれを楽しめそう。

パート 女性

**A** ンケートでは、将来は、仲良しの男女で、夫・友人などと、家族以外の人と暮らしたいという答えもあったけど、わたしも共感。コレクティブハウスという住み方も、選択の1つかもしれない。パート 女性

## 夫

夫とはいえ、基本的には一人ひとりの生き方が大切。夫には自分自身の将来のことを考えてほしいし、わたしはわたしでやりたいことを考えておこうと思う。重なるところがあれば一緒に、たとえ重ならなくてもお互いをそれぞれ認め合えればそれもいい。でも、生活を別々にするという結論になれば、それはそれでかたがたがない。わたしの中に、孤独や寂しさと付き合いつつ、一人で生活するだけの強さがあるだろうか。けれど、孤独や寂しさをいやすのは、家族以外にもあるだろう。老後は夫婦共通の趣味を見つけ、なんて私は決して思っていない。

会社員 女性



## 身

体に障害があっても、自分のことはできるだけ自分でしようという前向きな姿勢の人になりたいですね。ヘルパーをしていて、こういう人には共通点があることに気づきました。まず、明るいこと（若い時からあまり愚痴を言わない）。一人で生活しているだけの備えを若いときから考え、お金の準備（多いとか少ないではない）をしていること。その他には、手に職を持つ人が多いこと。また自分の意見をはっきりと言い、自分に誇りのある人という点も共通しています。

一人で暮らしていても、障害による多少の失敗などは、自分で始末する方もおられます。また、失敗を予想して前もって準備をする人も。そういう思いが、一日一日を支えているようです。生活面、精神的なこと、経済的なことなど、人間としてバランスがとれた生き方ができるよっ心掛けたいと思います。

ヘルパー 女性

年を取るってピンとこない

当事者になつてみないと本当のところはわからないかも

でも、楽しそうに年を重ねていく人もたくさんいるのだから……

# セピア色の

## 写真から

——いつも歩き続けて——

太田 ゆくいさん



高岡市民病院総婦長の時（48歳）



「看護婦」という天職を得て、

人生の大部分を「看護」のために費やしてきた。そんな女性、

太田ゆくいさんは大正2年3月生まれの85歳。福野町の米穀商の6人兄弟の長女として生まれた。

「看護」の仕事長く続けることができた秘訣は？ゆくいさんに抱いた疑問である。

### 「転機となった『出会い』」

金沢医科大学付属病院で3年間勤め、21歳（昭和9年）の時、高岡市伏木湊町の太田庸範さんと結婚して一時退職。翌年、女児をもうけた。

夫の庸範さんは戦地で病にかり、伏木に戻って家業を継いでいた。菓子の製造や貸りは封建的ではあるが、豊かでもあった。

家業を手伝いながらの子育て中に、ゆくいさんにとって人生を変える出会いがあった。

当時、朝4時から伏木港で石炭を運ぶ仲仕（船の荷役）として働く女性とその子どもたちのための伏木町託児所を設立し所長をしていた堀田くに

さんとの出会いである。

身重でありながら重労働をする女仲仕には、流産や早産がとて多かった。ゆくいさんは、家の前を通つていく、

やせ細った女性たちの姿を見るにつけ、同じ女性として「何とかしたい」と心を痛めていた。

同じように憂慮する堀田くにさんは、ゆくいさんが看護婦の経験があることを知り、妊娠中の母体安全や、乳児の哺乳・保育の指導を依頼する。

「いつもいつもくにさんと、どうすれば港の貧しい女性たちが安心して働けるのか、乳児が健康に育つのか話し合っていました」

伏木町託児所で2年間ボランティアで働く。

これをきっかけに、国の保健婦指導者講習会の県選抜にゆくいさんの名がある。

「しゅうとめにはとんでもない！と猛反対されましたが、夫がわたしの熱意をくみ取ってくれ、これからは女性も職業をもつ時代だからと、義父母を叩きつけてくれました。そのおかげで東京での6カ月の研修にも安心して行けました」

### 「自分にできることは？」

研修を終え、高岡市衛生課で保健婦として勤務する。

「このころは戦争の真つただ中で、医師は戦地にとられ高岡にはほとんどいない。私たち保健婦が医師のかわりとして伏木の町を走り回りました。薬なども少なく、大変な時代でした」

昭和27年（38歳）には、高岡市民病院の総婦長となった。

「あれは、38豪雪のときでした。大雪のために車が動かないので、伏木に住む10人ほどの職員で、病院まで歩いて行ったのです。もう、こんな馬の背みたいな雪道をかきわけて、病院に患者さんが待っているという一心でした」

患者のことはもちろん、そこで働く看護婦たちが働きやすいよう、環境づくりに心を砕いた。

「人の生死にかかわる仕事ですから、悲しいことやつらいこともたくさんあり、やめたいと思うことも一度や二度

ではありません。けれども自分が人のお役に立てるのなら、という思いで乗り越えてきました」

今日思ったことは、

今日やり遂げる

80歳でゲートボール審判員の資格を取り、83歳で始めたパソコンでは自分の名刺をつくる。

「自分でも時々、おかしな人間性だなあと思うんです。なにしろ思いついたらまっしぐらに進み、決意したら熱中する。良いのか、悪いのか……」

85歳の現在も、富山県看護協会顧問として毎日勤務し、後進の指導や『とやまの看護史』の編さんなどに力を注いでいる。

ゆくいさんは、ここぞという時、ちゅうちよすることはない。

「明日ありと思ふ心の仇桜夜半に嵐の吹かぬものは」という親鸞上人の言葉を胸に、職業人としての誇りを持ち続けることだろう。

# 気になる「トバ」

## 「NGO(非政府組織)」

一般的には海外協力を行って  
いる市民の組織をNGOと呼  
ぶ。

● NGOの活動は、第二次大戦後、  
欧米の民間団体が、植民地から独  
立した開発途上国を支援するボラ  
ンティア活動を行ったのが始まり。  
その後平和、人権、環境と範囲を  
広げ、政府から自立し、自発的な  
意志に基づいて、地球規模の問題  
に取り組む国際協力組織へと発展  
した。

● 最近では、ダイアナ(元英皇太  
子妃)さんも協力していた「地雷  
を禁止する国際キャンペーン(「  
CBL」)が昨秋、ノーベル平和  
賞を受賞。

温暖化防止京都会議でもNGOが、  
政府代表や議員に資料を提供した  
り、会場や市中へ二コースを配る  
など活躍している。

● さまざまな活動をしているNGO  
を紹介しよう。インドで井戸を  
掘る活動をしているグループがあ  
る。井戸ができればもちろん安全  
な飲み水が得られ、病気が減る。  
一方、女性や子供が遠くまで水く  
みに行く重労働から解放され、そ  
の分農業に励める。子供が学校に  
行き、母親が識字、職業訓練を受  
ける時間でもできるようにする、と  
いうわけだ。

● 国内にも、いろいろなNGO活  
動がある。例えば、滞日アジア女  
性のために生活相談や日本語教室  
を開いたり、「出稼ぎ」タイ女性  
が当事者になった裁判を支援して  
いるグループもある。

● 世界を見ても、男性より女性の  
ほうが、まだまだ貧困層が多い。  
途上国の女性を支援する活動が大  
事ではないか、ともいわれている。

また、差別される側の女性の視点  
に立って、女性自身が力をつけ、  
もっとNGOに参画することも求  
められている。

NGO : Non-Governmental Organization

## 平成9年度女性ブラン写真展 優秀賞作品



「山里の春」 澤田 実



「協働」 石黒 志保子

## 「ありて」の これから

創刊号から3号までを担当した  
編集員3人が、編集過程での様  
々な思いを話し合いました。

### めざしたのは「等身大」

♡編集では、商業誌にはない「土  
地柄」も出したかった。行政の発  
行物であることも考えて、カラを  
破りながら立場をわきまえて……そ  
こが、おもしろいところでもあり、  
苦労だったと思います。自分が読  
む立場だったらと考えて、編集に  
携わりました。

◇女性だけの一方的な視点で捉え  
るのではなく、男性からの視点、  
あるいは個人としての視点で見  
るのに心掛けました。

♡2号のテーマは、「仕事だけで  
いいの?」ですが、私自身、男性に  
近い働き方をしているので、「自  
分だけが大変と思わないで」と考  
えていましたね。

♡全体で8ページですが、編集員  
それぞれの思いがあり、予想以上  
に手間がかかりました。だけど……  
「もう一つ」手応えがない。その、  
「もう一つ」を越えるのが大変と  
いうのが実感です。もっと、職場  
などで「ありて」を話題にして  
もらえたらと思います。

### 女性(男性)問題って

◇世の中の女性問題の捉え方も、  
世代や環境によってこんなに違  
うんですね。自分は今まで「他人  
ごと」の側にいましたが、何かし  
たい、何かをしなくては、という  
思いがわいてきました。

♡女性問題をわかりやすく伝えたい、  
ステレオタイプではないものを、  
を、と想っていたけど、20代、30  
代の考えを聞き、違う意味でのス  
テレオタイプに、はまっていたこ  
とに気づきました。

♡「皆が抱えている問題であり、  
他人ごとではなくて皆が思ってい  
ることだと認識し、皆で変えてい  
けば良いことなんだよ」を伝えて  
いきたいと思いました。

### 今の生き方につなげる

♡女性の歴史の中では、制度や意  
識も変わったが、わたしたちは先  
駆者のパワーや、成熟した考え方を  
きちんと学んでいないのではない  
でしょうか。「セピア色の写真  
から」では、先輩たちの生き方を  
過去の事ではなく、今の女性の生  
き方につなげると思って読んで欲  
しい。

♡男女共同参画社会に対しては、  
女性も男性も「総論賛成、各論反  
対」なんですよね。そこに一石を  
投げられる「ありて」であって  
ほしいです。

# おもしろ数字

## 富山県の女子の大学・短期大学本科への 学部系統別進学状況

### 「女子は理系科目が苦手」のウソ、ホント…

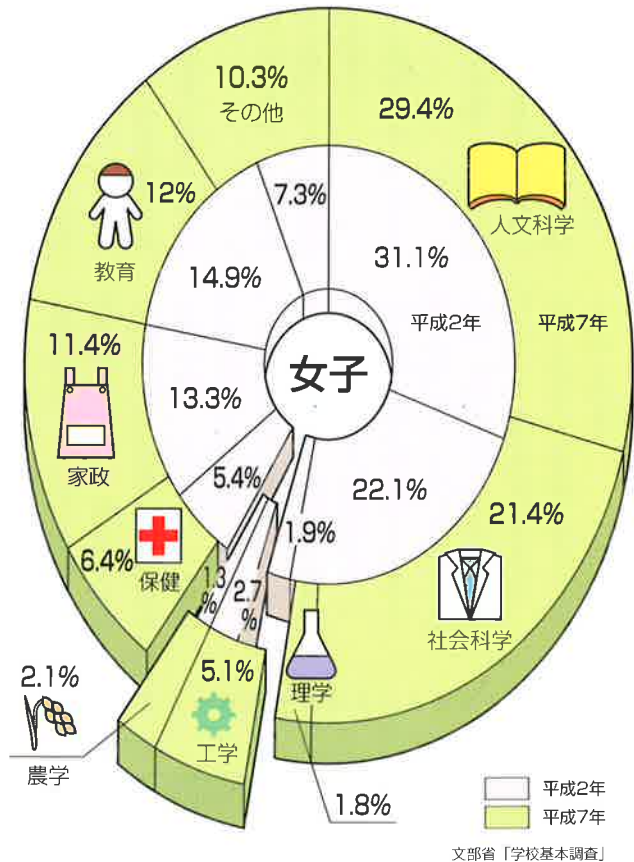
富山県の女子の大学・短期大学への進学率は、49.6%で、男子を上回りますが(平成8年文部省「学校基本調査」)、最近では、進む「学部の系統」にも変化が見られるようです。

「女子学生＝文学部、家政学部」は、昔のこと。確かに、男子学生の人文科学系進学率7.3%と比べれば、女子の29.4%は今でも高い数字。しかし、確実にその割合は、小さくなっています。逆に増えているのが、工学、農学系。工学系は、5年間で2倍近くのパーセンテージになっています。

新聞社が昨年11月に県内高校生、専門学校生に行ったアンケートでは、「専門的な知識や技術が必要な職業分野への女性の進出」に対して、女性回答者358人のうち98%が「すべき」と答えています。理系学部を選ぶ女子の増加は、こうした意識の表れなのでしょう。

昭和63年	女子 16%	男子 84%
平成9年	女子 40%	男子 60%

高岡工芸高等学校「建築科」の男女の割合



文部省「学校基本調査」

昭和63年 女子 16% 男子 84%  
平成9年 女子 40% 男子 60%

高岡工芸高等学校「建築科」の男女の割合

### 女性プランって何？①

▼先日、ある集まりで、60代の女性がこんな話をされました。「娘は、核家族で共働き。2人の子どもを育てているが、今、困っているのは、小学校2年の孫のこと。学校が終わると、児童センターに寄るが、問題は、その後、親が帰宅するまでの時間みてもらえない場所や、人のこと。なにか制度がないと、小さい子どもを育てながら働くのは大変」▼横の女性は、「子どもが1人るときは何とかできるけど、2人になると大変。私の娘は続けられなくて仕事をやめたわ」「保育所では、延長保育とか夜間保育とかがあるけど……」「核家族で子育てしながら共働き、といった一番条件が厳しい家庭にあわせて、制度や仕組みをつくる必要がある」など、集まりは盛り上がりました。

表紙：モテモテ 国立高岡短期大学  
藤坂 恵 四柳智美  
山下千鶴 山下美穂

発行／高岡市企画調整部女性行政室  
〒933-8601 高岡市広小路7-50  
電話 0766-20-1262  
FAX 0766-20-1661

### みんな いぎいき こんな働き方 くらし方

- 労働条件の整備
- 職場の中の男女平等、機会均等のための条件整備
- 性別や年齢、人種など差別をしないような働きかけ
- 育児休業制度や健康対策に関する制度の充実等
- 自営業(農・漁・商工業)者女性の労働条件改善の働きかけ
- 女性が働きやすいよう、生活をバックアップするシステムの充実
- 働く女性の実態調査、情報収集と資料の公開(提供)
- 働く女性の交流の場づくり
- 仕事を持つ女性の交流の場づくり

### 編集後記

編集員になって良かったこと。その1、ふだん話し合う機会のない若い編集員とじっくり話げできたこと。(でも一方で、自分の年代を再確認してしまった。)その2、たくさん本も読み、様々な情報にふれたこと。(頭の中で未消化でつまつたままのもの)その3、母や祖母の年代の女性のパワーにふれたこと。(私もパワーあふれるおばあちゃんになるぞ!)今号で編集員の任期も終わり。次にバトンタッチします。(な)

## いぎいきは 女性行政室です